

# 県政の場で人口減少対策を

## 中村豊橋市議が決意と抱負

本社来訪



来春の統一地方選で行われる県議会選挙に出馬を表明している自民党の中村竜彦・豊橋市議が1日、東愛知新聞社を訪れ、決意と抱負を述べた。「現在39歳。20年後も現役世代であることが私の特長だ。それをバネに少子高齢、人口減少対策に県政の場で取り組んでいきたい」と所信を述べた。

中村氏は大学在学中から浅野勝人元衆院議員の秘書を務めた。2007（平成19）年、市議に初当選して、現在3期目。今年1月に県議選への出馬を明らかにした。「水の展示館の廃止や議員定数の削減、総合動植物公園駐車場の有料化などいけば議会版の事業仕分けに取り組む一方、条例の議員提案や子育て対策などに力を入れてき

た」などと市議としての活動を説明した。その上で、「道路や港湾、河川などのインフラ整備に引き続き取り組みながら、人口減に歯止めを掛けることに県政の場で関わっていきたい。また必要な予算を県が負担する措置をとることによって市町村の施策を誘導していくような県政を進めたい」と抱負を述べた。最後に中村氏は「現状を正しく把握・理解し、いかに将来を確かなものにするかを考える政治家であり続けたい」と決意を示した。

# 東愛知新聞

平成三十年八月二日